

Seminar on applied kinesiology of Judo therapy

Special Subjects
Elective 2 credit

FUJII HIROAKI

No localized syllabus found / Showing original

1. Course Description

柔道整復はスポーツと深い関係を有するため、スポーツトレーニングに関する知見を獲得しておくことは重要です。そこで、スポーツトレーニングや運動構造など、スポーツに関する総合的な知見を得るために毎回の授業課題について、発表と討論を中心にして授業を進め、相互に理解を深めていきます。なお、医療技術学研究科 柔道整復学専攻DP1・2に関連しています。

2. Course Objectives

- (1) スポーツトレーニング全般にわたる理論と常に最大発揮能力を求められる歩、走、跳、投について、それぞれのトレーニングと運動構造について実践的に学ぶことができる。
- (2) スポーツ障害の発生機序とともに予防法に関する知見を身につけることができる。

3. Grading Policy

授業への参加態度(30%)、各課題とプレゼンテーション(70%)
最後の授業で全体に対するフィードバックを行います。

4. Textbook and Reference

Textbook

必要に応じて配布資料を配布する。

5. Requirements(Assignments)

- ・予習として指示された専門用語について調べ、理解した上で授業にのぞむこと(1時間程度)。
- ・授業の際に作成したノート・配布資料をよく復習し、理解した上で次の授業にのぞむこと(1時間程度)。

6. Note

7. Schedule

- | | |
|------|-----------------|
| [1] | ガイダンス |
| [2] | トレーニングとその評価 |
| [3] | トレーニングの原則 |
| [4] | トレーニングシステムについて |
| [5] | トレーニング期分けについて |
| [6] | トレーニングの種類について |
| [7] | トレーニングの評価について |
| [8] | トレーニングの構成について |
| [9] | 走動作の評価について |
| [10] | 走動作のトレーニングについて |
| [11] | 跳躍動作の評価について |
| [12] | 跳躍動作のトレーニングについて |
| [13] | 投動作の評価 |
| [14] | 投動作のトレーニングについて |
| [15] | まとめ |